

インド西ベンガル州ビルブム県における土地利用別アグロフォレストリーと環境に配慮した運用・利用の推進

活動地域  インド

ひろげる助成

3年目

実践

植林した多目的樹 **8,000本**

設置した無煙かまど **180世帯**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **90%**

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

雨期前(5月半ばから7月)に新型コロナウイルス禍の制限が強化され、苗木の準備に苦労したが、植林は7月半ば過ぎから挽回した。雨水保水池掘りは雨期前にはできず、冬期に遅らせた。

■工夫した点

移植の際の苗木間隔を樹木の種類によって適切に保つようにした。新型コロナウイルス禍の制限が緩和されてから、遅れていた活動を実施した。



休閑地植林3年目、樹木の高さ3m超

課題

乾燥地域の限界小規模農民世帯の占める割合が高い地域で、飼料や燃料などの供給源である森林減少や土壌侵食が進んでいる。

目標

有効利用の余地のある土地に多目的樹植林が広まり、かつ適正技術の導入により住民の生活向上と温室効果ガスの排出量を減少させる。

活動内容と成果

活動は2地区の30グループ、計600世帯を対象。各土地利用別の植林に適した計40種以上の樹木を住民とともに選択し、道路沿い、休閑地、池周り、水田、家周りの計10haに、計8,000本の多目的樹を植林し、20kgのマメ科灌木等の種子を蒔いた。薪燃料の節約を促進する無煙かまど180ユニット、バイオガス8ユニットを設置。雨水保水池を10か所、屋根水保水タンクを4ユニット設置し、平行して魚養殖を10か所の池に推進した。200世帯の菜園に3から4種の果樹を各々植樹した。



共同育苗場で、15種15,000本を育苗

全助成期間の活動を振り返って

3年間の活動で、30の自助グループメンバー 600世帯が、公共地の休閑地、道路・用水路沿い、池周り、田周り、家周りに、45種類の多目的樹を合計5万本植林し、薪燃料や飼料のアクセスを増やすとともに、土地の生産性向上を図った。苗木の育苗とともに、対象世帯の8割に無煙かまどを設置し、46のバイオガスプラントを設置することで、薪燃料の節約を図り、主に女性の家事労働の負担を軽減した。



無煙かまど設置で、25%の薪燃料が節約

58A, Dharmotola Road, Bosepukur, Kasba, Kolkata
700 042, West Bengal, INDIA
E-mail: sc.enre@gmail.com
HP: www.drcsc.org



今後の展望

地域行政とも連携し、自助グループメンバーたちがこの活動で得た経験と知識を地域に波及させるため、地域行政とも連携しアグロフォレストリー植林を学校周りなどにも実施していきたい。並行して、次世代の環境保全に関する認識を高め、地域でさらに自足的な植林活動が多角的に行われるようにしていきたい。